

復興ありがとうホストタウン（第一次）自治体について

平成 29 年 11 月 17 日
内閣官房オリパラ事務局

自治体 (相手国等)	受けた支援の概要	取り組もうとする事業の概要
岩手県大船渡市 (米国)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年 4 月から 7 ヶ月間、ボストンの「オールハンズ・ボランティアズ」のメンバー延べ 1,500 人が大船渡市に滞在し、被災した民家の修復やがれき処理等に従事。メンバーは、地域の祭りやイベントなどにも積極的に参加して国際交流。 このほか、州立大学等から英語教育を含む心のケア、野球を中心とした中学生交流等の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 「三陸大船渡夏祭り」や「盛町七夕祭り」、マラソン大会等に子供たちを招待。 米国から一流のトレーニング・コーチを招へいし、地元の中高生の陸上部員に、陸上競技のトレーニング・プログラムを実施。
岩手県花巻市 (米国、オーストリア)	<p>【米国】</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災発生直後から、ホットスプリングス市及びラットランド市から多額の義援金や、励ましのメッセージをいただき、大きな支援を得た。小学 2・3 年生から、204 通のメッセージカードが、市の宿泊施設に避難していた被災者に届いた。 <p>【オーストリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友好都市のオーストリア共和国ベルンドルフ市から義援金をいただき、市長等から励ましのメッセージをいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 花巻市ハーフマラソン大会にホットスプリングス市の市民ランナーを招待。 姉妹・友好都市の市民・生徒等との相互交流を行い、日本文化、伝統ある祭りや民俗芸能等の郷土色豊かな交流を実施。 東京大会では両国が出場する競技会場に市民がかけつけて応援。
岩手県陸前高田市 (シンガポール)	<ul style="list-style-type: none"> シンガポール赤十字社より、「陸前高田市コミュニティホール」の建設費用の支援。 収容人数 380 名の最大のホールは、シンガポールへの感謝と友好関係に因んで「シンガポールホール」と名付けられ、2015 年 5 月の利用開始以降、2017 年 9 月までの利用者数は合計 219,310 名となっており、講演会やコンサートなど様々な用途で広く市民に有効活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中高生が震災後の支援に対する感謝の気持ちを表すポスターなどを制作し、シンガポール関係者を招待し発表会を実施。 選手、家族等に歓迎・感謝の意を伝えるレセプション、震災からの復興状況を発信するツアー、高田松原再生のための記念植樹等を実施。

<p>岩手県野田村 (台湾)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災に際し、台湾の台湾佛教慈濟基金会から全被災世帯へ義援金を頂いた。 ・大阪大淀ロータリークラブを通じ台北中正ロータリークラブから中学校に和太鼓5基の提供を受けるとともに、大阪中之島ロータリークラブを通じ台北福齡ロータリークラブから小学校へ楽器やスポーツ用具の支援を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生代表が台湾ロータリークラブを訪問し、感謝を伝え、同クラブや台湾陸上選手へのインタビューを行い、その内容をポスター等で表現し、村民に報告。 ・ロータリークラブ、オリンピック、子どもたちに来訪してもらい、復旧復興した街並み、中学校の創作太鼓の演奏をみてもらう。
<p>岩手県釜石市 (オーストラリア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・震災当時、釜石シーウェイブスRFCに所属し、後にラグビーオーストラリア代表となったスコット・ファーディー選手は、大使館からの避難勧奨を断り、釜石市のためにボランティアとしてチームメイトとともに救援物資の集積場で物資の積み降ろしや搬送作業に奔走していただいた。 ・国内の姉妹都市である愛知県東海市を通じて、中学生の海外体験学習事業として平成26年度からビクトリア州マセドンレンジズ市に釜石市の中学生を受け入れていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スコット・ファーディー選手等オーストラリアのラグビー関係者を釜石に招き、ラグビーを通じて、市民や関係者との交流を図る。 ・中学生の海外体験学習事業を行っているマセドンレンジズ市の生徒を招き、感謝の気持ちを伝えると共に、市内で最も被害が大きかった鶴住居地区に整備する祈りのパーク等の見学を通じて、震災と復興の現状を伝える機会を設ける。
<p>宮城県仙台市 (イタリア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年5月、ペルージャ市よりサッカーチャリティイベントの収益金が寄贈された。また、同年9月、ベガルタ仙台ジュニアユースU-14の少年達をASローマとのサッカー交流を通じて励ます遠征が受け入れられた。 ・東日本大震災で中断した仙台市博物館でのイタリア関連特別展の開催期間延長や出品等の支援があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災遺構の見学や震災情報の発信等を行う。 ・東京大会終了後、津波被害を受けた学校の生徒等との交流事業等を行う。 ・大会終了後、ヨーロッパ有数の地震国であるイタリアの政府関係者等を招き、防災環境の推進に関するシンポジウムを開催。
<p>宮城県東松島市 (デンマーク)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月30日、メルビン駐日デンマーク大使が東松島市災害対策本部を訪問し、寄付金や子供たちのおもちゃ(レゴ)を寄付。 ・同年6月、フレデリック皇太子が行幸され、保育所、小学校、避難所等を回られた。同国寄付金を原資に「デンマーク友好子ども基金」が創設、デンマーク女王陛下や多くのデンマーク企業から寄付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東松島夏まつりに招待し、市民と交流。おもちゃをもらった子どもたちとの交流や、プール・遊具を整備してもらった小学校・保育所での交流 ・大会後デンマーク代表と市民のスポーツ交流及び講演会

<p>福島県飯舘村 (ラオス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオスとは、「学校を作るお手伝いをしよう」と子供たちが募金活動を開始し、村もふるさと納税を開始。平成 23 年 2 月には職員がラオス・ドンニャイ村を訪問、絵本を現地の学校に寄贈した。 ・震災後は、ドンニャイ村民が飯舘村のために祈りをささげた。同村中学校、同校長より激励の手紙が送られた。小中学生から激励メッセージ入りのこいのぼりが届けられるなど交流が継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオスの子どもたちや在京ラオス大使館の方々を学校行事や村のイベントに招待。 ・飯舘村では震災前より、福島県で行われる市町村対抗福島駅伝に毎年参加しており、陸上に関する講演、指導等の交流を実施。
<p>福島県南相馬市 (ジブチ、台湾、 米国、韓国)</p>	<p>【ジブチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジブチ共和国イスマイル・オマール・ゲイ大統領が、「TIME 誌」により市長のことを知り寄付を希望。平成 24 年 4 月にアホメド・アライタ・アリ駐日ジブチ共和国大使館特命全権大使が来市し、市長に対し大統領及び国民からのお見舞いの言葉及び義援金を寄付。 <p>【台湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年 11 月、台湾三重北區扶輪社等から給食用運搬車両 1 台の寄付。台北市当局より「原発事故の影響で屋外での運動ができない南相馬の子どもたちを招待したい」との話をいただき、同年 12 月に台北市内で開催された「中学生野球交流大会」に本市中学生が招待。このほか、米国や韓国からの支援を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相馬野馬追祭、マラソン大会に招待するほか、約 30 施設ある市内のスポーツ施設で、地元の子どもたちのスポーツ交流を実施。伝統ある市の文化民俗（祭・食）等を体験する交流を実施。 ・ジブチ共和国とは陸上・空手道競技の指導者・子どもたち同士の交流を実施。台湾とは野球競技の指導者・子どもたちを招待し交流。米国とはサーフィン競技、韓国とは柔道競技に関して交流を実施。 ・東京大会に参加する各国選手団の頑張りを会場で応援し、併せて市にお招きして歓迎・慰労等の会を開催。
<p>福島県本宮市 (英国)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 7 月、ロンドン中心部に「福島庭園」を整備。 ・市では、子どもが安心して遊べる場所を確保するため平成 26 年 12 月に「スマイルキッズパーク(愛称：プリンス・ウィリアムズ・パーク)」を整備。同所を平成 27 年 2 月ケンブリッジ公ウィリアム王子が訪問され、記念植樹をされるとともに子どもたちを慰労。 ・平成 29 年 7 月、本市のプリンス・ウィリアムズ・パーク「英国庭園(同年 11 月開園)」とロンドンの「福島庭園」が姉妹庭園協定を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが英国を訪問し、同市の食、生産物、暮らしの状況を伝え、交流を深める。 ・英国の子どもたち来てもらい、「プリンス・ウィリアムズ・パーク」等訪問、収穫祭体験など交流を行うとともに、テレビ電話などで学校単位による相互交信を実施。 ・出場選手等に、応援団として郷土食や本市の日本酒・お菓子等の特産品を届ける。

福島県北塩原村 (台湾)	<ul style="list-style-type: none">・震災の被害を知った台湾舞踊家協会が、平成 23 年 6 月村に避難している被災者を激励するため、村内 4 ヶ所で慈善公演を開催。・中学生台湾派遣交流事業を平成 24 年より実施しており、村の中学生が毎年、台湾を訪問し、現地の中学生と交流を実施。・平成 26 年 8 月、台湾観光協会により台湾の伝統舞踊団「台湾傳錬堂綜合芸術団」が当村を訪問し、台湾獅子舞や台湾龍神舞を披露している。	下記事業の実施を検討中 <ul style="list-style-type: none">・交流相手の中学生を招き、村の中学生と交流。・震災後にお世話になった舞踊団の皆様にも来村していただきたい。当時、慰問を受けた避難者の方も招いて、交流会などを実施。・村で盛んなバドミントン、卓球競技の台湾代表選手を、大会終了後に村に招き、交流会等を実施。
-----------------	--	--